

高校再編に関する第3回意見交換会での主な意見

資料 8

No. 1

	再編統合校選定の際の留意点など	その他（再編統合を進める際の配慮など）
<p>新川学区 (11月16日)</p> <p>参加者：199名 朝日町 21名 入善町 134名 黒部市 13名 魚津市 9名 滑川市 7名 上市町 4名 立山町 3名 その他 8名 ご意見：70名</p>	<p>5名</p> <ul style="list-style-type: none"> ・下新川郡に1校は存続させてほしい。 ・高校は各学区の中でバランスよく配置すべき。 ・再編される高校に進学している学力の子ども達の受け皿として、統合先の高校でカバーしてもらいたい。 ・中高一貫校の設置はデメリットが多く、反対。 ・受験直前に対象校が公表になると、子ども達に大きな影響が出るのではないかと 思うので、もう少し議論を重ねて受験の時期からずらすことも考えられないか。 	<p>65名（再編に積極的：15名 再編に慎重：33名 その他：17名）</p> <ul style="list-style-type: none"> ・高校再編により公共交通機関を利用せざるを得ない場合は、補助も検討してもらいたい。 ・志望高校の選択は、学科・コースの魅力によって行われているので、学科再編も含めて検討されたい。
<p>富山学区 (11月6日)</p> <p>参加者：71名 富山市 43名 その他 28名 ご意見：33名</p>	<p>1名</p> <ul style="list-style-type: none"> ・再編統合校の検討にあたり、通学の利便性を検討する際には、生徒は公共交通機関を利用する機会が多いので、その点に配慮してもらいたい。 	<p>32名（再編に積極的：14名 再編に慎重：3名 その他：15名）</p> <ul style="list-style-type: none"> ・水橋高校の体育コースについては、再編後も、これまでの活動を継続してもらいたい。 ・学科の配置や部活動について、再編しても心配がないことを示してゆくべき。 ・再編で募集停止になった高校では、全校生徒数が減り、学校行事や部活動が思うようにできないため、生徒がさみしい高校生活と感ずることのないように、配慮してもらいたい。

高校再編に関する第3回意見交換会での主な意見

No. 2

	再編統合校選定の際の留意点など	その他（再編統合を進める際の配慮など）
<p>高岡学区 (11月9日)</p> <p>参加者：72名 (高岡市 32名 射水市 15名 氷見市 5名 その他 20名) ご意見：16名</p>	<p>4名</p> <ul style="list-style-type: none"> 再編統合される学校については、当事者が納得できる説明、誰もが理解できる説明が不可欠。 学校が開校した経緯や文化、歴史を考慮してもらいたい。 郊外の高校の存続が、地域の鉄道の存続問題にもかかわってくるので、考慮してもらいたい。 高校生にとって、駅から遠い高校は行きづらいということも考えてもらいたい。 都会の進学校に負けないように中高一貫校を作ればよい。 中高一貫校は本県ではそぐわない。片山学園で十分。 	<p>12名（再編に積極的：6名 再編に慎重：1名 その他：5名）</p> <ul style="list-style-type: none"> 高校再編により子ども達の送迎が親の負担となるので、スクールバス等での送迎や、公共交通機関の利用を補助してもらいたい。
<p>砺波学区 (11月13日)</p> <p>参加者：101名 (砺波市 13名 南砺市 65名 小矢部市 13名 その他 10名) ご意見：57名</p>	<p>1名</p> <ul style="list-style-type: none"> 中高一貫校は、県内の私学で取り組まれており、生徒数減少が著しい中で取り組む必要性は低い。 	<p>56名（再編に積極的：7名 再編に慎重：32名 その他：17名）</p> <ul style="list-style-type: none"> 再編統合先の高校については、学級や学科を増設して充実し、子ども達の選択の幅を確保してもらいたい。 対象校を早期に決定し、十分な準備期間を確保すべき。

高校再編に関する第3回意見交換会での主な意見

No. 3

	高校再編に積極的な方々の意見	高校再編に慎重な方々の意見
<p>新川学区 (11月16日)</p> <p>参加者: 199名 ご意見: 70名 留意点 5名 積極 15名 慎重 33名 その他 17名</p>	<ul style="list-style-type: none"> ・子どもの数が大幅に減少していくことは明確であり、早急な再編が必要なことは明らか。 ・再編について賛成で、地元こだわりの必要はないと思う。 ・高校の活気を考えると、一定の規模が望ましく、再編もやむを得ない。 	<ul style="list-style-type: none"> ・再編統合の基本方針を撤回し、再度、県の総合教育会議をやり直してもらいたい。 ・親として、子どもが行きたい高校に行かせてやることができず、近くの高校にしかならせてやれない親がいることも分かって欲しい。 ・第3回目の意見交換会で発言された方は全て慎重な意見なのに、再編を進めるのは暴挙だ。 ・地元の方々の願いのこもった泊高校をさほどの理由もなく、再編統合していいのかと思う。 ・いずれの高校も地域と連携した活動を取り入れており、再編により変更すべきではない。 ・通学時間、通学費を考えると、公共交通機関を使わずに通学できる地元の高校を残してほしい。
<p>富山学区 (11月6日)</p> <p>参加者: 71名 ご意見: 33名 留意点 1名 積極 14名 慎重 3名 その他 15名</p>	<ul style="list-style-type: none"> ・スピード感を持って進めて欲しい。平成30年2月までには発表したほうがいい。 ・再編が遅れると、学級減の学校が多くなるので、再編を早く進める必要がある。 ・規模に応じて学校の特色づくりが可能となるため、再編を行うことによって、様々なニーズに応えるべき。 ・地域のエゴのために、若者の進路選択の幅が狭められることは本末転倒である。 ・7学級規模の高校は、他県の状況を見ても必要。 	<ul style="list-style-type: none"> ・水橋高校に関して、地域の学校を作るという意味で、存続を訴え続けていきたい。

高校再編に関する第3回意見交換会での主な意見

No. 4

	高校再編に積極的な方々の意見	高校再編に慎重な方々の意見
<p>高岡学区 (11月9日)</p> <p>参加者: 72名 ご意見: 16名 留意点: 4名 積極: 6名 慎重: 1名 その他: 5名</p>	<ul style="list-style-type: none"> ・ 高校は地域活性化のために存在するのではなく、生徒のためにあるべきであり、高校再編はやむを得ない。 ・ 元気で健全な若者の育成は、私たちの重要課題であり、再編は絶対必要。 ・ 子どもの数が減少していることは確実であり、高校再編はやむを得ない。 ・ 生徒の急減はすさまじく、高校再編をしなければ明るい未来がつかれないという共通意識があり、再編やむなしと思う。 ・ 再編には賛成であり、スピード感をもって進めてほしい。 	<ul style="list-style-type: none"> ・ 1クラスの生徒数を減らすことを本気で考えるべきだ。
<p>砺波学区 (11月13日)</p> <p>参加者: 101名 ご意見: 57名 留意点: 1名 積極: 7名 慎重: 32名 その他: 17名</p>	<ul style="list-style-type: none"> ・ 学校の活力は生徒数が大きく影響する。生徒減は今後急速に進むため、早期の再編を強く望む。 ・ 県全体のことを考えて再編統合を決定していくしかない。 ・ 頑張って高校生になり、就職して、ここ南砺で生きていきたいという砺波地区の普通の子供たちの夢を潰すようなことはしないでいただきたい。 ・ 当事者の声をしっかり聞くべきで、再編するとの基本方針を撤回すべき。 	<ul style="list-style-type: none"> ・ 一度なくなった学校を元に戻すのは無理なので、今やるべきことは、少子化対策、地方創生ではないか。 ・ 各学区で1校ずつ減にしないでいいのではないか。 ・ これからの教育をどうしていくのかを示し、小規模校でもしっかり教育できるようにすべき。 ・ 人口減少対策をしていないのに、高校再編することに不信感を持っている。 ・ 圧倒的に多い反対意見、慎重意見を結果的に無視したに等しい基本方針になっている。 ・ 福光高校がなくなると、城端から通っている子ども達が、より遠いところに行かなければならなくなる。